

第 2 期中期目標中間案を受けた 公立大学法人横浜市立大学での検討状況について（概要）

1. 第 2 期中期計画における主な取組

| | 第 1 期で整備された枠組の 内容の充実 | 第 1 期で課題となった取組 | 新たに進める必要のある取組 |
|------------------|--|---|---|
| 教 育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーに沿った教育の推進 ・共通教養教育の改善・充実 ・国際的視野に立った専門教養科目の充実（国際総合科学部） ・奨学金制度やキャリア教育等における学生支援の拡充 ・市立高校との高大連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・生命医科学分野の再編 ・医学部定員増後の教育の質の確保 ・大学院研究科におけるカリキュラムの継続的な分析と改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・コース再編（国際総合科学部）と学部・院の一貫教育体制の構築 ・医学部教育における医師不足への対応 ・ダブルディグリー等、他大学との連携の可能性に関する検討 ・本学を核とするアカデミックコンソーシアムの推進 ・国際教育研究機関との連携 |
| 研 究 | <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な研究の推進と外部資金の獲得 ・先端医科学研究センターの建設や研究体制の整備 ・地域貢献センターの推進による研究成果・知的財産の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・生命医科学分野の再編（再掲） ・県が整備する重粒子線がん治療施設への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・先端医科学研究センターの新たな展開 ・本学を核とするアカデミックコンソーシアムの推進（再掲） ・国際教育研究機関との連携（再掲） |
| 医 療 | <ul style="list-style-type: none"> ・患者本位の医療、医療安全管理の取組及び地域医療連携の強化 ・救急医療体制の充実や、高度で先進的な医療分野などへの積極的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・附属 2 病院の協調と各診療内容の役割分担による診療体制の確立 ・高度な医療、医学教育、研究などを基本とした効率的な病院経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が安心できる医療、高度で先進的な医療を提供するための医療機器や施設設備の整備 ・全医療スタッフのモチベーション維持・向上に向けた労働環境の整備 |
| 法 人 運 営 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営審議会等における効果的・機動的な審議による理事長・学長によるガバナンスの強化 ・任期制・年俸制・教員評価制度の効果的運用に向けた取組 ・積極的な情報公開による透明性の確保 ・寄付制度の充実 ・法人化により確立した運営交付金による自主的な運営の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・学長をトップとするより効果的な教育研究体制に向けた研究院の再編 ・部局間連携体制の改善 ・大学の教育・医療の質の維持を前提とした経営の効率化・自己収入の拡充 ・コンプライアンス推進体制の強化や内部監査の徹底等による不正防止への取組 ・個人情報保護体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスに配慮した職員のキャリア形成支援の充実 ・教職員の労働環境整備 ・横浜市と連携した八景キャンパス再整備事業の推進 |

2. 地域貢献・国際化に関する大項目の整合性について

平成 21 年 11 月 13 日に開催されました第 27 回法人評価委員会においてご指摘いただいた、「第 2 期中期目標及び計画における地域貢献・国際化に関する大項目の設定」につき、下記の通り整理していきたいと考えています。

- (1) 中期目標の大項目「地域貢献・国際化」の内容を受け、全学的に地域貢献・国際化を推進していくという市大の考え方について、計画全体の考え方を整理した前文に明記することにより、その重要性を示す。
- (2) 各計画の柱に【地域貢献】【国際化】を付記することで、教育研究、医療との一体感を明確にする。
- (3) 評価時の対応として、「地域貢献・国際化」を付記した計画については別表にまとめる。

【中期計画 前文（案）】

公立大学法人横浜市立大学は、大学の長期的な基本方針として定めた「YCU ミッション」のもと、設立団体である横浜市が定めた「公立大学法人横浜市立大学第 2 期中期目標」の実現を目指し、以下に定めた中期計画に沿った取組を実施する。

公立大学法人横浜市立大学は、大学として、また地方独立行政法人として、都市社会の発展に寄与することが本来の使命であるとともに、国際都市横浜にふさわしい国際性を有する大学となることを目指しており、「地域貢献」及び「国際化」への取組は非常に重要である。

そのため、「地域貢献」、「国際化」に関する取組については、横浜市が定めた中期目標「Ⅱ 地域貢献に関する目標」「Ⅲ 国際化に関する目標」を受け、公立大学法人横浜市立大学の中期計画全体に共通する目標と位置付け、大学の発展に向け、教職員が一体となってその実現に取り組む。

YCU ミッション

横浜市立大学は、国際都市横浜における知識基盤社会の都市社会インフラとして、特に教育研究・医療の拠点機能を担うことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

<具体的な方向性>

- ・横浜市を始めとした「都市」が抱える課題の解決に取り組んでいける人材の育成
- ・グローバルな視野をもって活躍できる人材の育成
- ・地域医療を支える病院等において活躍できる医師・看護師等の育成
- ・県内唯一の公立大学附属病院として市域県域への高度な医療の提供
- ・生命医科学の分野における世界的レベルの研究拠点となることを目指す など